

予防接種基本方針部会における 審議状況について

(第4回予防接種・ワクチン分科会以降)

厚生労働省 健康局結核感染症課 予防接種室

平成26年10月8日

第5回予防接種・ワクチン分科会

予防接種基本方針部会委員名簿

所属は平成26年7月24日現在

池田	俊也	国際医療福祉大学薬学部薬学科教授
△庵原	俊昭	独立行政法人国立病院機構三重病院院長
○岡部	信彦	川崎市健康安全研究所長
小森	貴	公益社団法人日本医師会感染症危機管理対策担当常任理事
坂元	昇	全国衛生部長会副会長（川崎市健康福祉局医務監）
澁谷	いづみ	愛知県一宮保健所長
多屋	馨子	国立感染症研究所感染症疫学センター第三室長
中野	貴司	川崎医科大学附属川崎病院小児科部長
中山	ひとみ	霞ヶ関総合法律事務所・弁護士
宮崎	千明	福岡市立心身障がい福祉センター長

※ ○が部会長、△が部会長代理

（50音順・敬称略）

予防接種基本方針部会における審議状況について

○第9回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会 (平成26年5月13日)

(1) 水痘・成人用肺炎球菌の定期接種化にあたって

2014年(平成26年)10月からの水痘ワクチン、成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化に伴う対応として、接種時の対応や長期療養特例の必要性等について審議が行われ、了承された。

(2) 報告事項

・平成26年4月の予防接種制度の改正事項等について

予防接種法第3条第1項の規定に基づき「予防接種に関する基本的な計画」が本年4月1日に適用されたことや同一ワクチンの接種間隔の上限の撤廃等について報告された。

・予防接種事故防止リーフレットについて

平成25年度に厚労科研費で作成されたリーフレットが紹介された。

・平成25年度感染症流行予測調査事業結果について

国立感染症研究所から厚労省本省が実施した感染症流行予測調査事業の解析結果である感染症流行予測調査報告書について報告された。

・野生型ポリオの国際的拡大について

平成26年5月7日に野生型ポリオの国際的拡大のリスクに関してWHOが声明を出したことが報告された。

○第10回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会 (平成26年7月16日)

(1) 定期接種での使用の是非について

① 沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン（無毒性変異ジフテリア毒素結合体） の高齢者への使用

高齢者に対する肺炎球菌による感染症の予防の効能・効果が追加承認された沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン「プレベナー13」は、定期接種で使用する事の是非について今後検討を行うことが了承され、ワクチンの有効性・安全性及び費用対効果等についてデータを収集し、評価及び検討を行うこととされた。

② 4価髄膜炎菌ワクチン（ジフテリアトキソイド結合体）

4価髄膜炎菌ワクチン（ジフテリアトキソイド結合体）「メナクトラ」は、現時点の疫学情報を踏まえると、定期接種として接種する必要性は必ずしも高くなく、現時点では定期接種として取り扱わないことが妥当とされた。

③ 沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ（ソークワクチン）混合ワクチン

沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ（ソークワクチン）混合ワクチン「スクエアキッズ」は、定期の予防接種に使用可能なワクチンとして了承された。

(2) 報告事項

・平成24年度予防接種実施率について

定期接種の実施率の集計結果等について報告された。

・平成25年度予防接種事故報告について

定期の予防接種を実施した際に発生した事故について報告された。

・風しんに関する普及啓発について

風しんに関する普及啓発として政府広報されたことが報告された。

・肺炎球菌ワクチンについて

肺炎球菌感染症（高齢者がかかるものに限る）に係る定期の予防接種で使用するワクチンに関する事務連絡を自治体へ発出したことが報告された。

○第11回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会 (平成26年9月11日)

(1) 北海道における日本脳炎の定期接種について

予防接種法第5条第2項に基づき都道府県知事が当該疾病の発生状況等を勘案して予防接種を行うことを要しない疾病に指定することができることとされている疾病として、同法施行令第2条において日本脳炎を規定していることの是非等について、厚生科学審議会において調査審議する必要があるとのあっせんを受けて、日本脳炎に関する国内疫学情報等を検討した結果、各都道府県における日本脳炎の発生状況等の地域の実情を勘案して、知事が予防接種を行う必要がない区域を指定することが可能となる現在の政令については、現時点において見直す必要がないとされました。

(2) 報告事項

・感染症法における水痘の取扱いについて

9月19日から水痘の入院症例を全数届出対象に追加することが報告された。

・平成25年度MRワクチンの接種率について

平成25年度の麻しん、風しんの定期接種の接種率について報告された。

・ワクチン評価に関する小委員会について

委員として任命された8名の紹介と部会長より倉根委員が委員長に指名された。

(3) その他

・HPVワクチンの接種後の症状に関する新たな医療体制の整備と調査について (平成26年8月29日大臣発言内容)

8月29日に厚労大臣が、HPVワクチン接種後に広範な慢性の疼痛又は運動障害等の症状を有する者に対して、新たな3つの対策を講じるとの発言がされたことが報告された。